

ビルヴァーシュタカム

アーディ・シャンカラチャーリヤ作と伝わる賛歌

第1節

3度の生涯の罪を破壊するもの、3枚の小葉からなるビルヴァの葉は、
存在の三つの性質、シヴァ神の三つの目、そして彼の三叉(さんさ)の武器
——トリシューラ——を体現している。
シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第2節

私は三つの葉柄を持つビルヴァの葉——縁起がよく、柔らかで、完全な葉——
でシヴァ神を崇拝する。
シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第3節

ナンディ[聖なる雄牛]の主であるシヴァが、完全なビルヴァの葉で崇拝されると、
すべての悪行が清められる。
シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第4節

功德を得るために、なぜ希少なシャーリグラマ[聖なる石]をブラーミンの司祭
にささげるのか！ ソーマ・ヤグニャ[ヴェーダの火の儀式]に等しい最高の形の
功德を授けるものとして、シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第5節

数百万頭の象の慈善の贈り物に等しく、100 回のヴァージャペーヤ・ヤグニャ[王家のヴェーダの火の儀式]に等しく、1000 万人の娘を嫁がせることに等しいものとして、シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第6節

ビルヴァの木は女神ラクシュミーの姿から生まれ、偉大なシヴァ神、マハーデーヴァにとって大切なものである。
シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第7節

ビルヴァの木を見たり触れたりすることは罪を滅ぼす。最もおぞましい罪を滅ぼすために、シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第8節

ビルヴァの木は、根としてブラフマー神の形を取り、幹としてヴィシュヌ神の形を取り、枝と葉としてシヴァ神の形を取る。
シヴァ神に神聖なビルヴァの葉をささげる。

第9節

ビルヴァの葉をたたえるこれらの8節は功德に富む。
シヴァ神の前でこれらを朗唱する者は誰でもシヴァの領域に到達し、あらゆる罪から解放される。

